

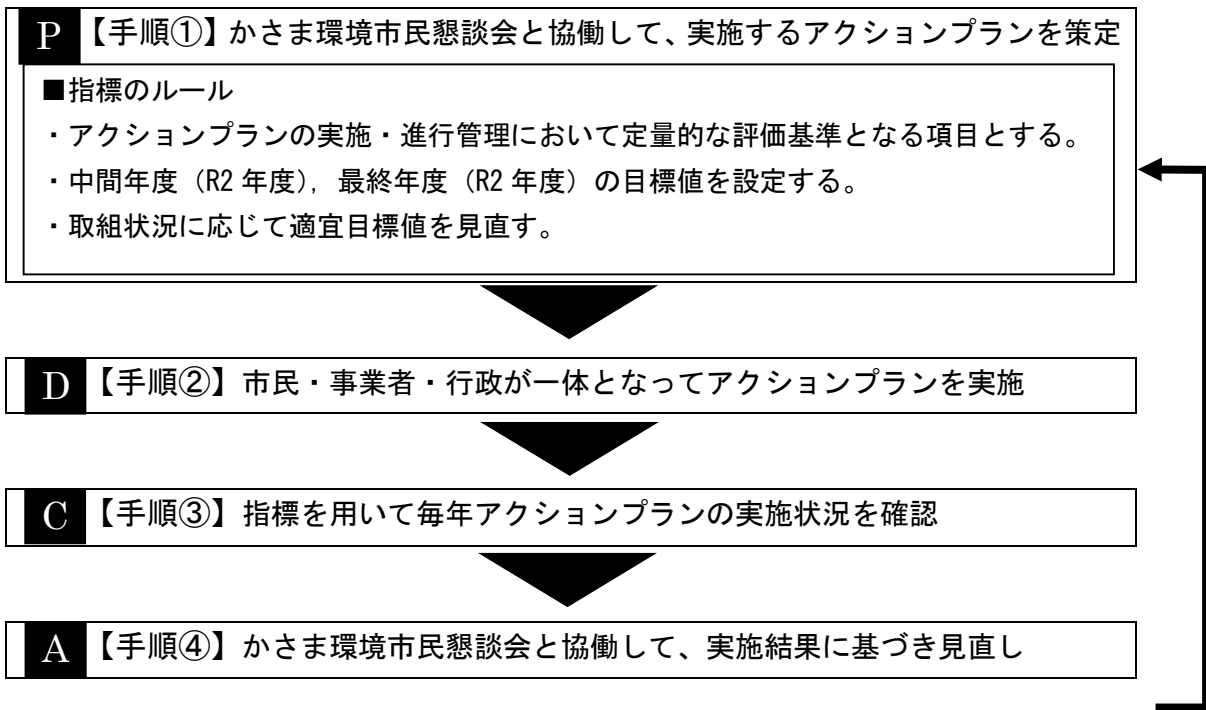
第2章 笠間市が力を入れる重点事業

1. アクションプランの位置づけとねらい

重点事業を実行する活動計画として、アクションプランを導入します。アクションプランは、重点事業（かさまエコプロジェクト）を実行する活動計画です。アクションプランは、市が「かさま環境市民懇談会」と協働して毎年、策定・見直しを行い、本市の環境状態や取組状況、社会情勢に応じた取組内容とするとともに、多くの主体の意見を取組へ反映します。

2. アクションプランの運用方法

次の手順に従って、アクションプランを運用します。



3. アクションプラン検討・策定の視点

次の視点に基づいて、笠間らしく環境を保全・創造するアクションプランを策定する。

- 1) 笠間市の特徴や環境問題からみて、特に**重点的な推進が必要**と考えられる取組。
- 2) 市民や事業者などの関心が高く、**発展的な行動や波及効果が期待できる**取組。
- 3) **市民や事業者と行政が協働して**取り組んでいく取組。
- 4) **笠間らしさや笠間の魅力**を引き出すような創造的な取組。

4. 重点事業の内容

重点事業	ねらい	個別の取組
[自然再生・保全] 1.自然共生プロジェクト	・市の自然環境状況の把握及び再生・保全活動を通じて、生物多様性を維持する豊かな自然環境を創造します。	1-1 かさまの自然環境調査
		1-2 かさまの自然再生
		1-3 生物多様性保全推進
[まち美化・不法投棄対策] 2.すみよいまちづくりプロジェクト	・環境美化を行うとともに、マナーの向上を図り、美しく快適な過ごしやすいまちを形成します。	2-1 かさま環境美化里親制度普及
		2-2 マナー向上推進
		2-3 不法投棄、ポイ捨て対策の推進
[4Rの推進] 3.資源循環型まちづくりプロジェクト	・ごみの減量化及びリサイクルを実施することにより4Rを推進し、資源を循環利用するまちを形成します。	3-1 リデュース・リユースの推進
		3-2 リサイクル促進
		3-3 ワンウェイプラスチックの削減
		3-4 事業者間等の連携強化
[温暖化対策の推進] 4.ストップ温暖化プロジェクト	・日常生活や事業活動における取組や森林整備を実施し、市全体で二酸化炭素の排出量を削減します。	4-1 かさまの森林(もり)推進
		4-2 環境にやさしい交通推進
		4-3 市民の主体的な温暖化対策促進
[環境教育・学習・活動の促進] 5.環境学習・環境保全活動促進プロジェクト	・環境教育・学習や活動の場の提供を通して、市民・事業者が主体的に環境保全に取り組む体制を形成します。	5-1 主体的な環境教育促進
		5-2 市民環境学習促進
		5-3 市民環境活動促進

【自然再生・保全】 1. 自然共生プロジェクト

1-1 かさまの自然環境調査

〈ねらい〉 自然環境調査を通じて、本市の自然環境の状態を把握し、保全活動の参考とします。また、市民・事業者へ情報提供、周知することにより啓発を行い、市の自然環境へ関心を持ってもらい、保全活動への意識醸成を図ります。

〈実施事業〉 自然環境調査結果を発表しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
自然環境調査の実施回数	年4回	年4回	年4回	年4回
年次報告書への記載	年1回	年1回	年1回	年1回

実施内容

自然環境調査結果を取りまとめ、年次報告書に記載したり、ホームページ等で広く公表します。

■ 5月(佐白山)

佐白山(標高182m)は、低い山ではあるが、笠間城址としても有名で、笠間県立自然公園として保護されている。全山花崗岩よりなり山頂下の石倉の巨岩はまわりのアカマツ・ヒノキ林に映え、素晴らしい景観です。

また、歌うたい石散策路の周辺には、ウラジロやコシダ、イズセンリョウ、リンドウ、サカキなど暖地性の貴重種がみられます。

調査で確認した主な植物〔4月30日〕

○花が咲く(種子)植物

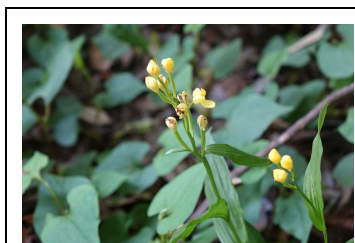
キンラン(ラン科)、フタリシズカ(センリョウ科)、ギンリョウソウ(ツツジ科)など
277種

○シダ植物

キジノオシダ(キジノオシダ科)、ウラジロ(ウラジロ科)など34種

○地衣類

ウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、コモジゴケ(モジゴケ科)など12種。



キンラン



フタリシズカ



ギンリョウソウ

■ 7月(仏頂山)

仏頂山(標高431m)は、笠間市の北西部に位置し、茨城県と栃木県との県境にあります。楞嚴寺周辺は「笠間県立自然公園」で、楞嚴寺の裏山は中腹までカシ類、スダジイの常緑広葉樹林で、「ヒメハルゼミ発生地」があり、国の天然記念物に指定されています。

中腹以上はイヌブナやアカシデ、カエデ類の落葉広葉樹林になります。

ヒノキ林内の階段の多い急な坂を登ると山頂に至りますが、細い巻道もあるので往復で違う道を通ると変化がでます。

調査で確認した植物〔7月20日〕

○花が咲く(種子)植物

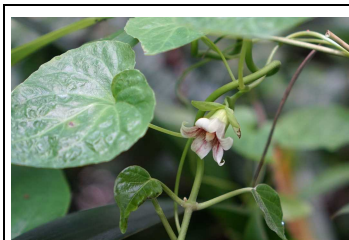
ツルギキョウ(キキョウ科)、ヨウラクラン(ラン科)、クモラン(ラン科)など263種

○シダ植物

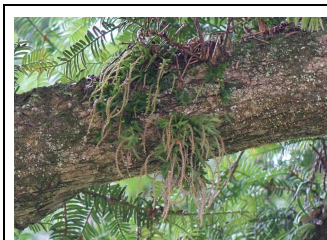
ウラジロ(ウラジロ科)、ノキシノブ(ウラボシ科)など30種

○地衣類

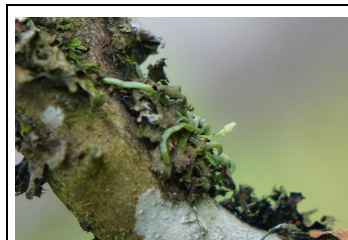
キンブチゴケ(ヨロイゴケ科)、コモジゴケ(モジゴケ)など24種



ツルギキョウ



ヨウラクラン



クモラン

■ 11月(福ちゃんの森公園)

福ちゃんの森公園は、エコフロンティアかさま建設に伴う地域振興事業として福田地内の「堂ノ入池(どうのいけ)」周辺を整備し、世代を超えた交流ができる憩いの場の提供を目的に設置した公園です。キンランやギンランなど、今では貴重となった植物がみられます。

調査で確認した植物〔10月26日〕

○花が咲く(種子)植物

センブリ(リンドウ科)、オトコエシ(スイカズラ科)、コウヤボウキなど217種

○シダ植物

シシガシラ(シシガシラ科)、ノキシノブ(ウラボシ科)など25種

○地衣類

アオバゴケ(アオバゴケ科)、コモジゴケ(モジゴケ科)など10種



センブリ



オトコエシ



コウヤボウキ

■ 3月(北山公園～天神の里)

この地域は、友部丘陵の南端部を形成し、山林、沢、湿地などが自然の姿に近い良好な状態に保たれています。公園内には湿性生態園やアヤメ・ショウブ園があり、ミズバショウをはじめ、アヤメ、ハナショウブ、カキツバタなど多くの湿性植物が植栽されており、四季折々の花を楽しむことができます。

また、南東の天神池周辺に「ビオトープ天神の里」が整備されています。

調査で確認した植物〔3月16日〕

○花が咲く(種子)植物

シュンラン(ラン科)、タチツボスミレ(スミレ科)、マキノスミレ(スミレ科)など3
12種

○シダ植物

クラマゴケ(イワヒバ科)、ジュウモンジシダ(オシダ科)など37種

○地衣類

ウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、コモジゴケ(モジゴケ科)など14種



シュンラン



タチツボスミレ



マキノスミレ

※科名は「植物分類表」2011年に拠る。

<評価・課題>

市内に生息・生育する植物の状況を把握するため、茨城県環境アドバイザー協力のもと自然環境調査を実施しました。また、調査した場所での自然観察会(年4回)を実施しました。

子どもの参加者を増やすために、夏休みに実施しましたが、参加者は少数でした。また、9月に館岸山周辺で観察会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に延期し、北山公園と天神の里で実施しました。

子どもの頃から身近な自然にふれあう機会として、子どもの参加を増やす検討が必要となります。

第1章の関連する施策:地域の生態系の把握(P5)、自然とのふれあいにおけるマナー向上・自然保護意識の高揚(P6)、自然公園の保全・活用(P7)、体験型学習機会の充実(P29)

1-2 かさまの自然再生

〈ねらい〉 市内の里地里山や河川・ため池を対象に市民、事業者と協働により生態系を考慮した整備を行うことで、本来の自然環境を再生し持続的に保全を行います。また、再生・保全した自然資源を活用し、さらなる保全の推進を図ります。

〈実施事業〉 ビオトープを活用して自然体験学習に参加しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
ビオトープ整備	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所	4ヶ所
水辺観察会など自然体験学習イベントの実施回数	5回	5回	5回	6回

・天神の里・北山公園ゲンジボタルの里・友部小学校・土師みずほの会

※関戸環境の会【めだか池】が廃止となりました。

※南指原ほたるの里が廃止となりました。

※駒場ホテルの里が廃止となりました。

実施内容

自然再生事業により整備した、ビオトープの適切な活用を促進するとともに、水辺観察会など自然体験学習イベントを開催します。

① ゲンジボタル観察会（ビオトープ天神の里周辺）

令和3年6月5日（土） 55名参加



ゲンジボタルの説明を受けたあと観察しました。十数匹のゲンジボタルが飛び交い参加者を楽しませてくれました。

また、ささやぶで、かすかに光るクロマドボタルの幼虫を見ることができました。

ヘイケボタルはまだ飛んでいませんでした。

② 昆虫観察会（ビオトープ天神の里）

令和3年7月3日（土） 49名参加



アリの研究をされている安倍先生にアリの解説をして頂き、トラップに集まったアリに子どもたちは、目を輝かせていました。

樹液には、ノコギリクワガタやコクワガタが来ており、草原にはバッタやヒメギスなどがたくさん飛び跳ねていました。

③夜の昆虫観察会（ビオトープ天神の里）

令和3年7月17日（土） 43名参加



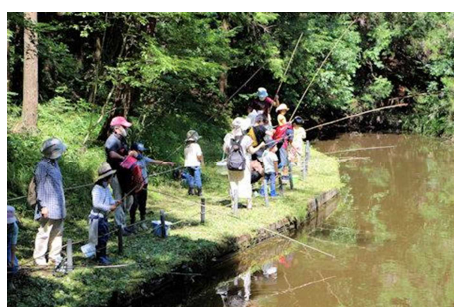
樹液を出す木には、ノコギリクワガタ、コクワガタ、カブトムシが来ていました。

暗闇を飛ぶヘイケボタルはとてもきれいでした。

羽化中のアブラゼミも観察できました。

④天神の里釣り大会（ビオトープ天神の里）

令和3年8月7日（土） 52名（子ども30名、保護者22名）参加

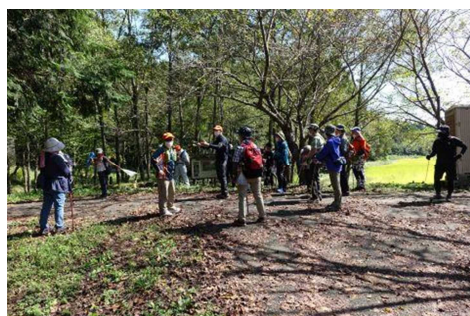


仕掛けから作り、小魚釣り・ザリガニ釣りをしました。フナ、クチボソなどが釣れ、小魚は合計で84匹、ザリガニは大漁で153匹でした。

⑤里山ウォーク（ビオトープ天神の里）

（天神の里駐車場～長畑池～北山公園～新池～白鳥湖～新道～天神の里駐車場）

令和3年10月2日（土） 19名参加



秋の花々を観察したり、木の実を拾ったり食べてみたりしながら楽しく歩きました。

北山公園では、タカクマヒキオコシやキバナアキギリが満開でした。

⑥里山教室（ビオトープ天神の里）

令和4年2月19日（土） 3名参加



整備中の里山を見学し、ヒノキ林の伐採枝や、枯草を集積するなど里山の保全活動を体験しました。

<評価・課題>

ビオトープは、市民団体等が主体となって維持管理を行っています。

市民団体と協働でビオトープ天神の里を活用した自然体験学習イベントを開催しました。夜の昆虫観察会や釣り大会には、100名程度の申し込みがあり抽選により開催しました。その他、各地域主体で、遊休農地や河川等を利用した自然観察会が開催されています。

ビオトープは、地権者や地域の協力で成り立っていることが多く、地域の実情から維持することが困難な地域がでてきています。

福ちゃんの森公園の堂ノ入池周辺においては、様々な植物が生育していることが確認されています。今後も継続的に自然環境調査を行いながら、維持管理方法等も含めて、活用について検討していきます。

第1章の関連する施策:親水空間の整備(P2)、生物の生息空間の保全(P5)

1-3 生物多様性保全推進

〈ねらい〉 生物が生息しやすい空間を整備することで、多くの生物が生息・生育できる環境を形成し、生物多様性を保全します。また、外来生物に対して「入れない・捨てない・拡げない」を実施することで侵入・拡散を防ぎ、在来生物の生息・生育の保全を図ります。

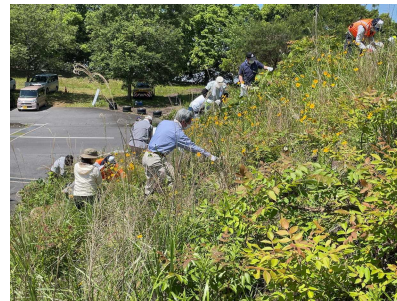
〈実施事業〉 オオキンケイギクを抜き取るぞ！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
オオキンケイギク処分量	640kg	560kg	650kg	750kg
参加者数	94人	93人	130人	124人

実施内容

市民団体等と協働で、特定外来生物であるオオキンケイギクの抜き取り作戦を実施します。

●かさま環境を考える会やごみを考える会などの市民団体等と協働で、特定外来生物である「オオキンケイギク抜き取り作戦」を5月29日（土）に実施し、750kg（450袋で191袋）を抜き取りました。



団体名	参加者数	団体名	参加者数
あたご四季の会	15名	セスイハイム工業(株) 関東事業所	5名
イソリテール(株) イソ笠間店	5名	NEXCO東日本	6名
(株)茨城電通	1名	星山自治会	5名
茨城トヨタ自動車(株)	2名	ハタヤ商事(株)	1名
岩倉緑化産業(株)	1名	一般参加者	2名
エチオピア未来の子供	4名	かさま環境を考える会	8名
キャノン(株)	1名	ごみを考える会	8名
キャノン化成(株)	17名	茨城県	3名
キャノンモールド(株)	2名	笠間市役所	36名
JR東日本 友部駅	2名		

〈評価・課題〉

オオキンケイギクの抜き取りを継続して行っている場所は、着実に成果が表れていますが、確認されている場所もあります。拡散を防ぐためには、広報活動を積極的に行い、地域や家庭において抜き取り作業をしていただけるよう更なる普及・啓発を行っていく必要があります。

第1章の関連する施策:野生動植物の適切な保護・管理(P5)

【まち美化・不法投棄対策】

2. すみよいまちづくりプロジェクト

2-1 かさま環境美化里親制度普及

〈ねらい〉 かさま環境美化里親制度や花いっぱい運動をはじめとする清掃活動や花壇づくりに、市民・事業者が主体的に取り組むことで、市内の環境美化がすすんだすみよいまちづくりを図ります。

〈実施事業〉 環境美化活動団体大募集！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
道路里親制度実施箇所数	43箇所	51箇所	53箇所	50箇所
グリーンパートナー制度実施箇所数	5箇所	4箇所	9箇所	4箇所

実施内容

市が管理する公園や道路などの公共スペースについて、近隣の市民や事業者の方々などが、市に代わって清掃や美化活動を実施し、協働でまちの美化を推進します。

●道路里親制度では、道路を「里子」に、沿道のボランティア団体などを「里親」に例えて、住民と行政が協力し道路の清掃（ごみ拾い）や除草・花壇の手入れなどを行うなど、美しい潤いある道路環境づくりの推進、制度の普及啓発に努めています。

道路里親団体一覧(県道)

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	笠間市岩間地区日赤奉仕団	国道 355 号(下郷地内)	1.5km
2	土師ひゃくしょう塾	県道水戸岩間線(土師地内)	1.0km
3	ひまわりの会	県道茨城岩間線(安居地内)	1.5km
4	まちづくり宍戸塾	県道大洗友部線(平町地内)	1.0km
5	下市毛まちづくり同好会	県道笠間つくば線(第2踏切付近)	1.3km
6	有限会社 小池工務店	県道稲田友部線(稲田地内)	0.334km
7	こうのす道路里親の会	県道杉崎友部線(鴻巣地内)	1.3km
8	株式会社 三栄製作所 茨城工場	県道石岡城里線(仁古田地内)	0.055km

道路里親団体一覧(市道)

資料提供 管理課

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	あたご四季の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.5km
2	岩間山の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.0km
3	山根南会	市道(岩) 西 485 号線外	1.8km
4	岩間東町一区	市道(岩) II 級 11 号線外	0.5km

5	日吉町区一班	市道(岩) I 級 6 号線外	0.9km
6	日吉町区二班	市道(岩) 中 330 号線外	1.4km
7	日吉町区三班	市道(岩) 中 133 号線外	0.7km
8	日吉町区四班	市道(岩) I 級 6 号線外	1.1km
9	吉岡二区	市道(岩) 中 331 号線外	0.7km
10	春日町はなみづき	市道(岩) 中 330 号線外	0.6km
11	春日町さくら	市道(岩) 中 330 号線外	0.5km
12	ひまわりクラブ	市道(岩) II 級 6 号線外	2.9km
13	春日町一区	市道(岩) 中 330 号線外	0.6km
14	寺平地区	市道(笠)4138 号線	1.0km
15	吉岡一区	市道(岩) 中 330 号線外	0.6km
16	宮前交遊会	市道(友)1317 号線	0.6km
17	下市毛まちづくり同好会	市道(笠)2205 号線外	1.8km
18	本戸荒牧自治会第一班	市道(笠)0230 号線	0.6km
19	本戸荒牧自治会第二班	市道(笠)3385 号線	0.5km
20	本戸荒牧自治会第三班	市道(笠)3384 号線	0.5km
21	本戸荒牧自治会第四班	市道(笠)3372 号線	0.5km
22	NPO 法人ビオトープ天神の里を作る会	市道(友)2 級 4 号線	0.7km
23	旭町西区会	市道(岩) 中 122 号線外	0.5km
24	5 1 区新谷地区里親会	市道(笠)0110 号線外	1.0km
25	第 2 8 区第 1 班	市道(笠)1210 号線外	0.6km
26	第 2 8 区第 2 班	市道(笠)0118 号線	0.6km
27	第 2 8 区第 3 班	市道(笠)1316 号線	0.9km
28	吉岡一区絆会	市道(岩) 中 184 号線外	1.0km
29	みずほパトロール隊	市道(笠)0106 号線	0.6km
30	自然環境美化推進会議	市道(笠)0112 号線	0.5km
31	倉作道路里親会	市道(笠)1157 号線外	2.1km
32	本戸鍛冶屋組	市道(笠)0112 号線	0.9km
33	香取会	市道(友)1 級 3 号線	1.3km
34	住吉大沢水利組合	市道(友)1 級 8 号線外	0.9km
35	ギャラリーロード商店会第 1 区	市道(笠)2336 号線	0.5km
36	ギャラリーロード商店会第 2 区	市道(笠)2336 号線	0.5km
37	ギャラリーロード商店会第 3 区	市道(笠)2336 号線	0.5km
38	ギャラリーロード商店会第 4 区	市道(笠)2336 号線外	0.5km
39	108 区上郷	市道 (笠) 3267 号線 外	1.0km
40	108 区恵比寿	市道 (笠) 3276 号線 外	1.0km
41	こうのす道路里親の会	市道(友)1168 号線外	0.6km
42	西光寺組合	市道(笠)3395 号線	0.74 km

●「笠間市都市公園グリーンパートナー制度」による、市民の自主的な都市公園の美化活動を推進し、親しみやすい公園にするため、グリーンパートナー協力団体の拡充に努めます。

グリーンパートナー制度実施団体一覧

資料提供 管理課

No.	公園名	団体名	面積
1	いなだふれあい公園	神田自治会	1,150 m ²
2	鯉淵公園	柿橋総区	5,461 m ²
3	友部駅前児童公園	仲町区	2,868 m ²
4	城南やきもの通り公園	第16区	1,701 m ²

<評価・課題>

道路里親制度については、新規加入団体が3団体（市道路里親3）ありました。

今後も、道路里親制度の普及に努め、地域の方々による道路の清掃・美化等の促進を図るなど、地域と行政の協働による道路環境づくりを推進します。

第1章の関連する施策:みどりのまちづくりを支える体制づくり(P8)、環境美化活動の推進(P13)

2-2 マナー向上推進

〈ねらい〉 ポイ捨てや不法投棄、家庭騒音について、マナー学習や啓発活動を行うとともに、ルールの徹底や笠間市すみよい環境条例の周知を行い、市全体のマナー向上を図ります。

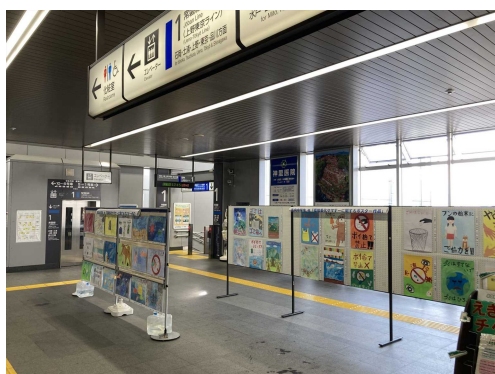
〈実施事業〉 環境の美化やマナーを守ることの大切さについて学ぼう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
イラスト応募数	—	20件	200件	58件

実施内容

環境教育の一環として、市内小中学校において環境美化マナーを守ることの大切さについて学ぶことを目的に、「ごみのポイ捨て防止」や「犬のフンマナー」のポスターを募集しました。

- 市内の学校（小学校10校・中学校5校・義務教育学校1校）合計16校に、夏休み選択式の宿題として募集しました。応募総数58件の作品はJR東日本友部駅に展示しました。



〈課題・評価〉

「環境美化」や「ペット飼育のマナー」に関するポスターを募集しました。夏休みの課題として募集しました。

子どもの頃から環境の美化やマナーを守ることの大切さについて意識することが、これからの環境保全のために重要であるため、今後も継続していきます。

第1章の関連する施策:近隣に配慮したマナーやルールの普及(P13)

2-3 不法投棄、ポイ捨て対策の推進

〈ねらい〉 ポイ捨てや不法投棄、家庭騒音について、マナー学習や啓発活動を行うとともに、ルールの徹底や笠間市すみよい環境条例の周知を行い、市全体のマナー向上を図ります。

〈実施事業〉 不法投棄、ポイ捨てを未然に防ぐぞ！

取組指標	現状(H29)		中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
パトロールでの回収量	38,080kg		34,270kg	34,200kg	27,050kg
クリーン作戦回収量	笠間	7,910kg	2,990kg	7,100kg	7,260kg
	友部	9,650kg	3,070kg	8,600kg	6,070kg
	岩間	5,410kg	1,700kg	4,800kg	4,460kg

実施内容

笠間市不法投棄ボランティア監視員等によるパトロールの実施や市民の要望により不法投棄防止看板の配付をします。

また、市民が一体となり実施するクリーン作戦などの環境美化活動により、ごみの捨てられにくい環境をつくれます。

●市民団体による不法投棄ごみ監視を行いました。

- ・かさま環境を考える会（月1回）
- ・ごみを考える会（年4回）
- ・笠間市岩間環境美化推進協議会（年3回）

●市民団体のごみ拾い活動に対して、バイオマス配合のごみ袋を配布しました。

●ポイ捨てされた「使用済みマスク」は、感染症拡大の原因となるだけでなく、野生生物など生態系への影響も懸念されることから、「使用済みマスク専用回収ボックス」を市役所本庁、各支所、各公民館の6箇所に設置しました。

〈評価・課題〉

全市一斉クリーン作戦を年3回実施し、市民の環境美化意識の高揚を図りました。

一部の心ない人によるテレビや冷蔵庫など家電の不法投棄が増加しています。

普段から笠間市不法投棄ボランティア監視員等によるパトロールを行い、ごみが捨てられにくい環境づくりを推進していきます。

第1章の関連する施策：不法投棄、ポイ捨て対策の推進(P13)

【4Rの推進】

3. 資源循環型まちづくりプロジェクト

3-1 リデュース・リユースの推進

〈ねらい〉 食を通じて「身近な題材で環境問題を体験的に楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から調理、片づけに至るまでの一連の流れを通じて環境に配慮する食生活を行うことです。このような食を通じた環境保全の取り組みを推進します。

〈実施事業〉 エコクッキングに参加しよう！

取組指標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
エコクッキング参加者数	21人	中止	50人	18名

実施内容

市民団体と連携し、エコクッキングを通じて、子どもたちに環境への関心を高めてもらうため開催します。

- 市民団体（ごみを考える会）主催により、笠間市社会福祉協議会で開催しました。

開催日 令和4年3月27日（日）

〈評価・課題〉

7月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3月に延期して実施しました。

今後も市民団体が企画・開催することもエコクッキングへの支援を通じて、子どもたちの食品ロスの削減に対する意識の高揚を図ります。

第1章の関連する施策:家庭や学校における地球温暖化対策の普及促進(P24)、市民・事業者への環境学習の促進(P29)

3-2 リサイクル促進

〈ねらい〉 再使用されない、再使用された後に廃棄されたごみについて、効率的に回収し、ものづくりの原料として再生利用（Recycle/リサイクル）したり、焼却時の熱エネルギーとして活用することで資源の循環・促進を図ります。

〈実施事業〉 資源物のリサイクルに取り組もう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和3年度
資源物分別回収 (集団回収)量	966t	308t	1,000t	331t
廃食用油回収量	1,470ℓ	2,213ℓ	1,600ℓ	2,625ℓ
小型家電回収量	37kg	1,066kg	800kg	859.5kg

実施内容

子ども会等で実施している資源物分別回収や、家庭から排出される廃食用油の回収、鉄やレアメタルといった有用な金属を含む小型家電の回収等に継続して取り組むことで、資源物のリサイクルを推進します。

●本所（環境保全課）、各支所地域課の窓口において資源物を回収し、資源の循環を図りました。

資源物品目(17品目)

ダンボール	新聞紙	雑誌類
布類	アルミ缶	スチール缶
ポリケース	ビール大瓶	ビール中瓶
ビール小瓶	ビール特大瓶	一升瓶ケース
一升瓶	雑瓶4合瓶	雑瓶2合瓶
ジュース類瓶	廃食用油	

小型家電対象品目(31品目)

デジタルカメラ	ゲーム機	ACアダプタ
計算機	電子手帳	携帯音楽プレーヤー
ビデオカメラ	携帯電話・スマートフォン	カーナビ
ラジオ	ルーター・スイッチ	ICレコーダー
補聴器	磁気ディスク装置等	電子書籍端末
パーソナルコンピューター (ノートブック型)	タブレット端末(PCリサイクルマークのないもの)	ポータブルDVD・BDレコーダ/プレーヤー
ゲームソフト(CD・DVDを除く)	電子体温計	電気式温湿度計
電子式ヘルスメーター	電子式ベビースケール	デジタル歩数計
フィルムカメラ	ヘアードライヤー	電気かみそり
電気脱毛器	電動歯ブラシ	電子時計
電気時計		

〈評価・課題〉

資源物・廃食用油・小型家電を回収し、資源を循環することができました。

一方、集団回収の量の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響による活動中止や子ども会等の減少によるものと考えられます。

第1章の関連する施策:資源の循環利用の推進(P21)

3-3 ワンウェイプラスチックの削減

〈ねらい〉 海洋プラスチックごみが、深刻な問題となっていることから、海洋プラスチックごみの元となる、プラスチックの利用削減に取り組みます。

4Rの取り組みを基本に、特に、不要なワンウェイ（使い捨て）プラスチックを「使わない」「もらわない」など、ごみの減量化を推進します。

〈実施事業〉 ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの削減に取り組もう！

取組指標	現状(R1)	中期(R4)	長期(R7)	令和3年度
取組キャンペーン	0回	2回	2回	2回

実施内容

マイバッグやマイボトルの持ち歩きを推進し、市民や事業者等と連携したレジ袋やペットボトル（リサイクル不可）の利用を控える取り組みを行います。また、マイクロプラスチックの影響などについてイベント等を通じて啓発し、プラスチックごみの減量化を推進します。

- 11月開催の福ちゃんの森公園イベントにおいて、生分解性プラスチック容器を使用したPR活動や、市民団体によるリユース品の販売を行いました。

環境教育人形劇を市内小学校3校（笠間小学校、岩間第二小学校、友部第二小学校）および福ちゃんの森公園（11/6）と笠間市児童館（1/15）で開催しエコバッグを配布しました。

〈評価・課題〉

プラスチックごみを減らすためには、市民、事業者、行政が一体となって、削減と適正処理に取り組む必要があるため、プラスチックとの賢い付き合い方を考えていく必要性があります。

第1章の関連する施策:ごみ減量化の推進(P21)

3-4 事業者間等の連携強化

〈ねらい〉 海洋プラスチックごみをはじめとする廃プラスチック対策や地球温暖化対策としての温室効果ガス（CO₂）削減に関連した事項について、市や事業者等が意見交換をすることなどにより、市と事業者や事業者間の環境負荷ゼロを目指した取り組みの連携強化を図ります。

〈実施事業〉 市内事業者の先進事例発表および意見交換会

取組指標	現状(R2)	長期(R7)	令和3年度
開催回数	1回	2回	0回

実施内容

事業者の先進事例発表や意見交換会の場を設け、市内事業者との連携強化を図り、地域の環境負荷軽減を図ります。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できませんでした。

〈評価・課題〉

廃プラスチック対策や温室効果ガス削減に関する事項については、事業者との連携が必須であることから、事業者の先進事例や意見交換を実施し取り組む必要があります。

第1章の関連する施策:ごみ減量化の推進(P21)